

2025年9月16日
ユニチカガラスビーズ株式会社

太陽光パネルカバーガラスを使用したガラスビーズの リサイクル生産技術の確立

ユニチカガラスビーズ株式会社（本社：大阪府枚方市、代表取締役社長：山田英明）は、太陽光パネルカバーガラスを使用したガラスビーズのリサイクル生産技術を確立しました。

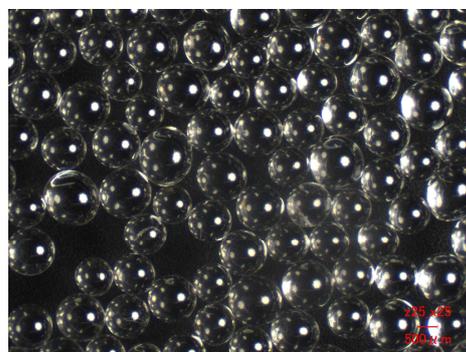
太陽光パネルは2030年代半ばから国内で年間数十万トンの排出が見込まれ、最終処分における環境負荷が懸念されます。その状況下で、太陽光パネルの重量の約6割を占めるガラスのリサイクル促進が課題とされています。

太陽光パネルカバーガラスを使用するにあたり、従来のガラス原料と比較して不純物の付着が多くあるという課題がありました。そこで株式会社浜田（本社：大阪府高槻市、代表取締役：濱田篤介）独自のリサイクル技術により不純物が完全に除去されたカレット（ガラス端材）で品質面での課題を解決し、太陽光パネルカバーガラス由来100%のガラスビーズの実用化の目途が立ちました。

・透過顕微鏡写真(25倍)



球状化前



球状化後

ガラスビーズの多くはリサイクルガラスを原料として利用しています。道路の白線に代表される路面標示や各種研磨材、樹脂フィラーなどに幅広く使用されています。今後さらに本ガラスビーズの活用においてお客様との連携を強化するとともに、本技術のさらなる展開に向けて、現在パートナー企業を広く募集しております。ご関心のある方はぜひお問い合わせください。

以上

※掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

＜ 本件に関するお問い合わせ先 ＞
ユニチカガラスビーズ株式会社 営業部
TEL : 072-858-1355
E-mail : info@unibeads.co.jp